

ミステリ読書案内

2024. 1. 7 発行元

第542号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

チャンドラー「ベスト表」(再掲)

私の一番好きなミステリ作家。レイモンド・チャンドラーの『ベスト表』を再度取り上げてみよう。長編は7作しか残されていないので順番をつけるのは簡単だ。正統派ハードボイルドの名品揃い。どれも皆素晴らしい。

正統派ハードボイルドの名品

ハメット、チャンドラー、ロス・マクドナルドという「正統派ハードボイルド」の流れの中で、私はチャンドラーが一番好きだ。チャンドラー作品のどのページを開いても、すぐに読み始めることができるし、その一文一文に魅力を感じる。いろんな訳者の少しずつ違った訳文を比較してみるのも楽しい。

前回の『代表作』の号では『長いお別れ』『さらば愛しき女よ』『チャンドラー傑作集』を取り上げた。

今回は『湖中の女』と『高い窓』を取り上げることにした。前回取り上げた作品よりは目立たない本かもしれないが、内容はそれなりに充実していると思う。

現在は村上春樹訳の早川書房版が一番手に入りやすいだろうし、図書館でも揃えていることが多いので多くの人には是非読んでほしいと願う。今の日本のミステリの傾向とは少し違う部分を感じてほしい。「読者へ無理やり押し付けるもの」がないということを…。あからさまな「感情」を表に出さない物語を。

《チャンドラー長編ベスト表》

1. 長いお別れ 1953年
2. さらば愛しき女よ 1940年
3. 湖中の女 1943年
4. 高い窓 1942年
5. 大いなる眠り 1939年
6. かわいい女 1949年
7. プレイバック 1958年
- (8. プードル・スプリングス物語)

未完の長編 後でR・B・パーカーが続きを書いている

◎日本版で出版された主な短編集

1. スーン街で拾ったもの ポケミス
2. チャンドラー傑作集1 創元
3. チャンドラー傑作集2 創元
4. チャンドラー傑作集3 創元
5. チャンドラー傑作集4 創元
6. マーロウ最後の事件 晶文社
7. チャンドラー傑作集 if ノバ
8. チャンドラー美しい死顔 講談文庫
9. ベイ・シティ・ブルース 河出

「湖中の女」

1943年の作。私の手元にあるのはハヤカワ・ポケットミステリの503番。

1973年の第6版。田中小実昌の訳。大学生時代に一文一文を味わって読んだ懐かしい本。

マーロウはロスアンゼルス化粧品会社ギラーレン社を訪ねる。ミギー警部補の紹介で、社長のドレース・キングズリイに会うためである。ところがこの社長、大変横柄で「邪魔者は帰れ」のような対応。「固いブラジル・ナットでも割れそうなすどい声」で拒否し続けていたのが、マーロウの忍耐強い返答で少しずつ柔らかな態度に変化していく。こういう会話のやりとりがチャンドラー作品の読みどころのひとつになっている。依頼の内容は一ヶ月前に姿を消したキングズリイの妻・クリスタルの行方を探すというもの。キングズリイが引き出しから取り出したのは電報。差出人にはクリスタルの名。「メキシコに行き、当地で離婚手続きをとり、クリスと結婚する。…」と書かれていた。しかし、調べてみると二人がメキシコに渡ったという形跡は残されていない。マーロウがクリス・レヴリイの家を訪ねていくと、本人がそこにおいて、クリスタルとは会っていないと話す。結婚する気もまったくないと。さて、彼女はどこへ行ったのか？ マーロウは続いてサンバーナディオ湖畔にある別荘に行ってみることにした。その湖の底に沈んでいたのは…。

「高い窓」

1942年の作。私の手元にあるのはハヤカワ・ポケットミステリの513番。1

975年の第7版。同じく田中小実昌の訳。『さらば愛しき女よ』と『湖中の女』の間に位置する作品。探偵フィリップ・マーロウの人物像も安定してきている。形は古金貨を探すという設定なのだが…。

パサデナ市。マーロウはこの市の政治や経済で活躍したジャスパー・マードックの未亡人を訪ねる。ドアを開けたのは使用人の女性。続いて案内されたのは女秘書の部屋。目的の人物に出会うまでの関門が厳しい。紹介者を聞かれ、あちこちに電話をかけて確認されるという念の入れよう。ようやくエリザベス・マードックに面会できた。彼女はポートワインを口にし、要件を切り出さない。マーロウが煙草を口にすると「わたしは喘息のけがあるの…」と言われ、仕方なしにポケットに戻すことに。ポートワインは「喘息の薬」だと言う。それで、マーロウは椅子に坐って脚を組むことが彼女の喘息に影響しないようにと祈ることになる。頼まれたのは時価一万ドルと言われる初期アメリカの古金貨の行方を探すこと。夫人は息子の嫁が持ち出したのではないかと疑っているのだった。その息子というのは仕事もできずに賭博にのめり込み、大きな借財を負っているようなのだ。賭博師とその妻、マーロウの後をつけてくる謎の男…。そして連続殺人事件に発展していく。